

SP300 取扱い説明書

目 次

1. 設置場所及び保管上の注意事項
2. セット内容
3. 基本仕様
4. 主な特徴
5. 各部名称
6. 各機能別の使用方法
7. デモ曲リスト
8. 内蔵リズムリスト
9. 内蔵音色リスト
10. 故障かなと思ったら



1) 設置場所及び保管上の注意事項

スクロールピアノ SP300をお買い上げいただきましてありがとうございます。SP300は非常に精密な設計構造になっておりますので、ご使用に際しては下記の注意事項を十分に確認のうえお使い下さい。

1. ご使用になる際は、設置される場所が平坦であること、濡れていない、また油や埃、異物が付着していないかご確認下さい。
設置される場所がデコボコだったり、濡れていたり、油や埃・異物がありますと故障や誤動作の原因となります。
2. テレビやコンピューターなど電磁波が発生する周辺では誤動作する場合があります。
3. ACアダプターは専用のSPAD1（別売り）をお使い下さい。またその際は安全のため電池は取出してお使い下さい。
4. 長期間ご使用なさらない場合は、電池を取り出して保管して下さい。
5. 鍵盤部分は材質上、外部の衝撃によって破損しやすいので取扱いには十分ご注意下さい。
鋭利なものに接したり水に濡れた場合、また鍵盤の上に物をのせた場合などは故障の原因になります。
6. 本来の目的以外のご使用はおやめ下さい。故障、破損の原因になります。
7. いかなる理由があっても本体を分解することはおやめ下さい。
8. 長時間直射日光やライトが当たると変色する場合がありますので、直射日光などを避けて保管して下さい。
9. 鍵盤楽器の長時間連続での練習は、手や指に負担をかける場合がございます。適度な休憩を取りながらお楽しみ下さい。

2) セット内容

1. SP300本体
2. キャリーバッグ
3. 取扱い説明書
4. 電池（単3×4）

3) 基本仕様

1. 鍵盤：37鍵盤
2. 音色：31種類
3. 電源：DC6V 又は単3電池×4本
電池寿命 連続使用時 約15時間
4. 内蔵スピーカー出力：400mW
5. サイズ：W680×D160×H31mm
6. 重量：約800g（全て含む）

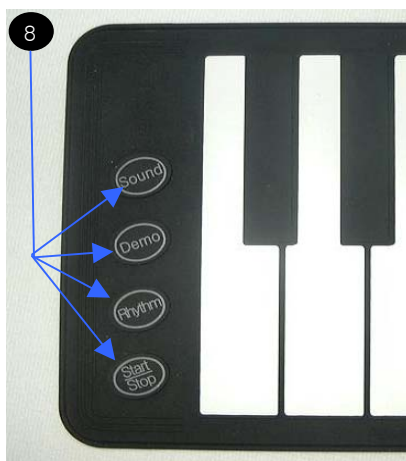
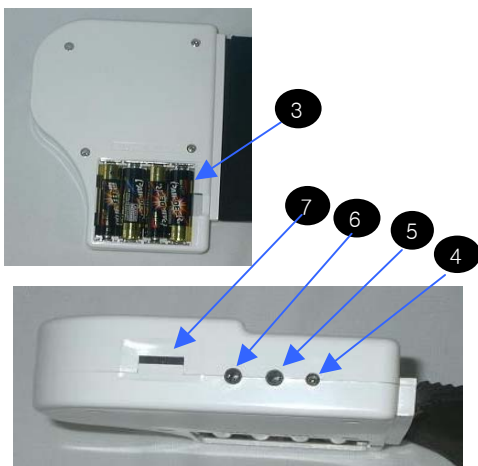
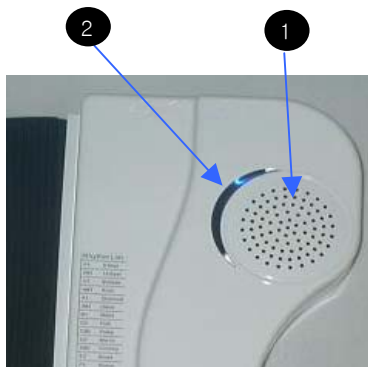
4) 主な特徴

- 携帯に便利なロールタイプの鍵盤
- 37キーソフト鍵盤
- ほこりが付きにくい鍵盤素材使用
- 31音色内蔵
- 20種類リズム/自動伴奏内蔵
- 16曲のデモ演奏曲を内蔵
- サスティンペダル端子装備
- ヘッドホン端子装備
- 最大同時発音数 32音



5) 各部名称

- ①. スピーカー
- ②. 電源ライトウィンドウ
- ③. 電池ボックス
- ④. ACアダプター入力端子
- ⑤. ヘッドホン出力端子
- ⑥. サスティンペダル入力端子
- ⑦. 電源/音量ダイヤル
- ⑧. 機能設定ボタン
「Sound」「Demo」「Rhythm」「Start/Stop」



6) 各機能別の使用方法

■ 電源を入れ音色を確認しましょう

1. 電源の準備です

- ・ 電池を使用する場合は本体裏の電池ボックスカバーを開け、表示された電極に合わせて電池を入れます。電極を逆にセットしますと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ ACアダプターを使用する場合は、ACアダプター入力端子に接続します。この際無理な力を加えずに接続して下さい。またACアダプター使用時は電池を取出して下さい。電池を入れたままの使用は故障の原因になります。

2. 電源を入れる

- ・ 電源/ボリュームダイヤルを時計方向に回します。電源ライトウィンドウに青いライトが点灯します。これで電源が入りました。電源を切る場合は、ダイヤルを左方向に回します。”カチッ”というクリック音がして青いライトが消えます。これで電源が切れた状態になります。

3. ボリューム（音量）をかえる

- ・ ダイヤルを右に回せば音量が上がり、左に回すと下がります。お好みの音量でお楽しみ下さい。

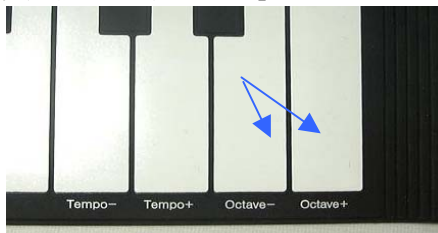
4. 音色をかえる

- ・ SP300には31種類の音色が内蔵されており、電源を入れた時点ではアコースティックピアノの音色が出るように設定されています。その他の音色は以下の手順で設定、お楽しみいただけます。
- ・ 電源を入れた状態で、鍵盤部の左端にある「Sound」ボタンを1回押します。続いて左端から白鍵盤（ソ/G）を1回押し、さらに「Sound」ボタンを押す。続いて左端から2番目の白鍵盤（ソ/G）を1回押し、さらに「Sound」ボタンをもう1回押します。これでハープシコードの音色に変わりました。
「Sound」ボタンを押した際、SP300の鍵盤は音色を変えるスイッチの役目をしており、どの鍵盤がどの音色のスイッチになるかは、9) 内蔵音色リストを参照下さい。

「Sound」ボタンを押す→お好みの音色の鍵盤を押す→「Sound」ボタンを押す
この手順でお好きな音色を設定、お楽しみ下さい。

5. 鍵盤の音域を変える (Octave Up/Octave Down)

- ・ SP300は、弾かれる曲の音域に合わせ鍵盤の音域を上下に1オクターブ変更することができます。
- ・ 電源を入れ、「Sound」ボタンを1回押して下さい。続いて鍵盤部右端の「Octave+」鍵盤を1回押し、さらにもう1度「Sound」ボタンを押します。これで1オクターブ高い音域に変更になりました。初期の状態に戻すにはこの状態のまま「Sound」ボタンを1回押し、続いて「Octave-」鍵盤を押し、さらにもう1度「Sound」ボタンを押して下さい。（電源を切り、再度電源を入れても初期の状態に戻ることができます）
- ・ 初期の状態より1オクターブ低い音域に設定するには、「Sound」ボタン、「Octave-」鍵盤、「Sound」ボタンの順に押します。初期の状態に戻るには「Sound」ボタン、「Octave+」鍵盤、「Sound」ボタンの順に押して下さい。



■ デモ曲を聞いてみましょう

SP300には16曲のデモ曲が内蔵されています。

1. デモ曲を聞く

- ・ 電源を入れた状態で、鍵盤部の左端にある「Demo」ボタンを1回押します。最初のデモ曲「プレリュード（バッハ）」の演奏が始まります。

2. デモ曲を変える

- ・ デモ曲が演奏されている状態で、左端から順番に鍵盤（白鍵、黒鍵）を押して下さい。異なるデモ曲が演奏されます。「Demo」ボタンを押した際、SP300の鍵盤はデモ曲を変えるスイッチの役目も兼ねます。どの鍵盤がどのデモ曲のスイッチになるかは、7) デモ曲リストを参照下さい。

3. デモ曲の演奏を止める

- ・ デモ曲が演奏されている状態で、鍵盤部の左端にある「Start/Stop」ボタンを押します。演奏が止まります。もう1度「Start/Stop」ボタンを押す、又は鍵盤を押すと演奏が始まります。

4. デモ曲に合わせて弾く

- ・ デモ曲が演奏されている状態で「Sound」ボタンを1回押し、お好きな音色の鍵盤を押し、さらにもう1度「Sound」ボタンを押します。これで選んだ音色でデモ曲に合わせて弾くことができます。

■ リズム/自動伴奏を聞く

SP300には20種類のリズム/自動伴奏が内蔵されています。

1. リズムを聞く

- 電源を入れた状態で、鍵盤部の左端にある「Rhythm」ボタンを1回押しします。続いて左端からどこかの鍵盤（白鍵、黒鍵）1箇所を選び押し、さらに「Rhythm」ボタンをもう1回押しします。この状態で「Start/Stop」ボタンを押すと選んだリズムがスタートします。リズムを止めるには「Start/Stop」ボタンを押します。

2. リズムのテンポを変える

- リズムが演奏されている状態で、まず鍵盤部左端の「Rhythm」ボタンを押しながら（押した状態で）、鍵盤部右端から3、4番目の「Tempo+」「Tempo-」の鍵盤を何回か押してみてください。テンポが変わります。「Tempo+」は速く、「Tempo-」は遅くなります。

3. リズムの種類を変える

- リズムを止めた状態で、「Rhythm」ボタン→鍵盤→「Rhythm」ボタンの順に押し、「Start/Stop」ボタンを押せば、選んだリズムが流れます。
- 「Rhythm」ボタンを押した際、SP300の鍵盤はリズムを変えるスイッチの役目も兼ねます。どの鍵盤がどのリズムのスイッチになるかは、8) 内蔵リズムリストを参照下さい。

4. 自動伴奏を楽しむ

SP300にはリズムに加え、自動的に伴奏を加えられる機能が内蔵されています。（ポータブルキーボード、電子オルガン、電子ピアノなどに内蔵されている自動伴奏機能と同じように楽しめるものです）

- 電源を入れた状態で、鍵盤部の左端にある「Rhythm」ボタンを押し、続いて好きな鍵盤を押してリズムを選び、もう1度「Rhythm」ボタンを押します。この状態で左端からどこか好きな鍵盤を押してみてください。リズムと一緒に伴奏の加わった演奏が流れます。ここで鍵盤部の左側で“ド”、もしくは“ソドーミ”（3音を同時に）と鍵盤を押してみてください。この状態で、SP300はドミソの和音の伴奏（Cコードとも言います）を演奏します。このように自動伴奏とは、簡単な操作で和音伴奏を追加できる機能で、演奏の楽しみ方が広がります。
- 和音の種類や鍵盤の押さえ方などにつきましては、市販されています楽譜などでご確認下さい。

■ 電源ライトウィンドウの活用

電源ライトウィンドウのライトの光り方の状態で、SP300の設定状態（モード）がわかります。

1. 4コのライトがついている状態

- ・演奏スタンバイモードです。電源を入れたときはこのモードになっています。

2. 1番上のライトがついている状態

- ・「Sound」ボタンを押した時のモード。音色の選択を待っている状態。



3. 2番目のライトがついている状態

- ・「Demo」ボタンを押した時のモード。デモ曲の選択を待っている状態。

4. 3番目のライトがついている状態

- ・「Rhythm」ボタンを押した時のモード。リズムの選択を待っている状態。



5. 4コのライトが点滅している状態

- ・リズムを使用している状態で「Stop」ボタンが押され、リズムが一旦止まっている状態。ライトの点滅のスピードはリズムのテンポを表しています。

7) デモ曲リスト

1. 平均律第1巻 第1番より「プレリュード」 (J. S. バッハ)
2. インヴェンション第4番 (J. S. バッハ)
3. プレリュード第7番 (ショパン)
4. 子供の情景より「見知らぬ国」 (シューマン)
5. 主よ、人の望みの喜びよ (J. S. バッハ)
6. ヴァイオリンの為のパーティータ第3番より「ガヴオット」
(J. S. バッハ)
7. 平均律第1巻 第3番より「プレリュード」 (J. S. バッハ)
8. 四季より「秋」 (ヴィバルディ)
9. トランペット協奏曲 (ハイドン)
10. アルルの女より「メヌエット」 (ビゼー)
11. GMブルース
12. ジングルベル
13. ハッピーバースディトゥユー
14. サンタが町にやって来る
15. We wish you a merry Christmas
16. Little drummer boy



8) 内蔵リズムリスト

- 1 (F1) : 8ビート
- 2 (F#1) : 16ビート
- 3 (G1) : ハート
- 4 (G#1) : ロック
- 5 (A1) : スローロック
- 6 (A#1) : ティスコ
- 7 (B1) : ワルツ
- 8 (C2) : フォーク
- 9 (C#2) : ホルカ
- 10 (D2) : マーチ
- 11 (D#2) : カントリー
- 12 (E2) : ブルース
- 13 (F2) : ホサノバ
- 14 (F#2) : チャチャ
- 15 (G2) : ルンバ
- 16 (G#2) : サルサ
- 17 (A2) : サンバ
- 18 (A#2) : スイング
- 19 (B2) : タンゴ
- 20 (C3) : フォックス

9) 内蔵音色リスト

() 内は該当する鍵盤の位置です。

- 1 (F1) : アコースティックピアノ
- 2 (F#1) : エレクトリックピアノ
- 3 (G1) : ハープシコード
- 4 (G#1) : ミュージックボックス
- 5 (A1) : ピンボール
- 6 (A#1) : シロホン
- 7 (B1) : チャーチオルガン
- 8 (C2) : ジャズオルガン
- 9 (C#2) : アコーディオン
- 10 (D2) : ハーモニカ
- 11 (D#2) : アコースティックギター/ナイロン
- 12 (E2) : アコースティックギター/スチール
- 13 (F2) : エレキギター-1
- 14 (F#2) : エレキギター-2
- 15 (G2) : アコースティックベース
- 16 (G#2) : ヴァイオリン
- 17 (A2) : チェロ
- 18 (A#2) : ティンパニー
- 19 (B2) : ストリングス
- 20 (C3) : トランペット
- 21 (C#3) : トロンボーン
- 22 (D3) : チューバ
- 23 (D#3) : ブラスアンサンブル
- 24 (E3) : シンセベース
- 25 (F3) : アルトサクソ
- 26 (F#3) : テナーサクソ
- 27 (G3) : ホルン
- 28 (G#3) : クラリネット
- 29 (A3) : フルート
- 30 (A#3) : パンジョー
- 31 (B3) : ドラムセット

10) 故障かなと思ったら

使用中に表れる症状で考えられる原因を記載しました。原因が不明、特定できない場合は、お買上げの販売店までご相談、お問合せ下さい。

症状	考えられる原因
電源が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が消耗している。 ・ACアダプターの接続が不完全。 ・ACアダプターが壊れている。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源がついていない。 ・ボリュームが最小になっている。 ・ヘッドホンが接続してある。
音が大きくなったり、小さくなったりする	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が消耗している。
鍵盤を押さなくても音が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤部の下に異物がある。 ・特定の鍵盤が押されている。
雑音が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームが最大になっている。 ・電池が消耗している。 ・本体が外部のものと同様に接触している。
ヘッドホンや外部スピーカーを接続した際音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・接続が不完全である。 ・外部スピーカーの電源が入っていない。 ・ヘッドホンが壊れて（断線）いる。 ・SP300もしくは外部スピーカーのボリュームが最小になっている。
サスティンペダルが作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ペダルの接続が不完全。 ・ペダル線が断線している。

*ACアダプター、サスティンペダル、ヘッドホンは別売りです。SP300販売店でお買求め下さい。

*ACアダプター、サスティンペダル、ヘッドホン、電池は消耗品です。消耗したり、壊れた場合は販売店でお買求めください。

*上記以外の症状の場合もお気軽にお買求めの販売店までお問合せ下さい。